

2014年10月14日掲載 輸送経済新聞

▼ペーパーレス

「事務作業が紙と鉛筆の世界から離れつつある」と武藤幸規第一貨物社長。ペーパーレス化は足掛け三年前から始めた時短構想の一環。業務と業務の間に



できる空き時間をなくし、事務系で延べ二十万時間の時短を図る。

「電算機を使った事務の効率化と併せ、いろんなペーパーレス化が起きている。画面の中で仕事をするという概念」 (矢田 健一郎)

